

2012.3→2013.3	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
休館日	5(月)	2(月)	7(月)	4(月)	2(月)・9~13	6(月)	3(月)	1(月)	5(月)	3(月)・29~31	1~3、7(月)	4(月)	4(月)	
企画展	正岡子規と美術展 2月11日(土・祝) 4月15日(日)		開館5周年 国吉康雄展 4月28日(土) 7月8日(日)			開館5周年 ストラスブール美術館展 7月21日(土) 9月2日(日)		開館5周年 百花繚乱 女性の情景展 9月15日(土) 10月21日(日)		開館5周年記念 朝井閑右衛門展 11月3日(土・祝) 12月25日(火)		児童生徒造形作品展 1月28日(土) 1月29日(日)		日本の木のイス展 2月9日(土) 4月14日(日)
所蔵品展	~4月1日(日)	第1期 特集展示 横須賀・三浦半島の作家たち 4月7日(土)~6月3日(日)		経済部企画イベント① 6月9日(土)~7月8日(日)		第2期 特集展示 開野宏子 7月14日(土)~9月23日(日)		第3期 特集展示 及川正通 9月29日(土)~12月16日(日)		第4期 特集展示 指先、言葉でつむぐ美術 12月22日(土)~2月24日(日)		経済部企画イベント② 3月2日(土)~4月7日(日)		
谷内六郎館 <週刊新潮表紙絵>展	~4月1日(日)	1980年 4月7日(土)~7月8日(日)				1981年 7月14日(土)~9月23日(日)		谷内六郎と海(仮) 9月29日(土)~12月16日(日)		子どもの遊び(仮) 12月22日(土)~2013年4月7日(日)				

*経済部企画イベントについては商業観光課(TEL.046-822-8294)にお問い合わせ下さい。*会期や内容は変更になることがあります。*観覧料:()内は20名以上の団体料金または前売券料金

—アメリカ美術を変えた日本人— 国吉康雄展 Yasuo Kuniyoshi: A Retrospective



《糖のほり》1950年
福武コレクション
休館日:
5月7日(月)
6月4日(月)
7月2日(月)

2012年4月28日(土)~7月8日(日)

岡山生まれの国吉康雄(1889-1953)は、職を求めて渡ったアメリカで美術にめざめ、苦学の末1920年代にニューヨークで画壇デビュー。厳しい社会条件を克服し、アメリカで人気作家となった日本人です。その生涯を、100点を越す作品で振り返ります。

観覧料●一般:800(640)円 ●高大生、65歳以上:600(480)円

朝井閑右衛門展 ASAI Kan'emom: A Retrospective



《薔薇(嘉崎青花唐子紋中巻)》
1983年 横須賀美術館

休館日:
11月5日(月)
12月3日(月)

2012年11月3日(土・祝)~12月25日(火)

横須賀・田浦に住んだ洋画家の巨匠・朝井閑右衛門(1901~1983)。本展は朝井の初期から晩年までを油彩、日本画に加え、横須賀市に寄贈された多くの資料も交え、「人間・朝井閑右衛門」に迫る本格的回顧展です。

観覧料●一般:800(640)円 ●高大生、65歳以上:600(480)円

ストラスブール美術館展 —世紀末からフランス現代美術へ— Les Collections du Musée d'Art Moderne et Contemporain de la Ville de Strasbourg



ピエール・ボナール
《テーブル上の果物鉢》
1934年頃
ストラスブール美術館

2012年7月21日(土)~9月2日(日)

休館日:
8月6日(月)

ストラスブール美術館の名品によって、象徴主義から印象派、モダンアートを経て、現代へ至る美術の軌跡を紹介します。ロッセティ、ゴーガン、ピカソ、ローランサン、マグリットなどの多様な作品が一堂に会します。

観覧料●一般:900(720)円 ●高大生、65歳以上:700(560)円

第65回 児童生徒造形作品展 Children's Art Exhibition in Yokosuka



第64回展示作品より
「すてきなれもの」
小学校1年

2013年1月12日(土)~1月28日(月)

市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子ども達が日頃の授業でつくり上げた平面作品・立体作品など約3000点を展示します。

観覧料無料

百花繚乱 女性の情景展 —生きて行く私— Images of Women



岸田劉生
《童女図(雛子立像)》1923年
神奈川県立近代美術館

2012年9月15日(土)~10月21日(日)

休館日:
10月1日(月)

古くより「女性」は美術作品に描かれてきました。本展は、物語や社会、時代の中に生きる女性を、洋画・日本画、写真、女性誌等様々なメディアを通じ約120点ご紹介いたします。また、実際に手にとって漫画が読めるコーナーを設けます。

観覧料●一般:800(640)円 ●高大生、65歳以上:600(480)円

日本の木のイス展 Japanese Wooden Chair



《ハタフライチェア》
デザイン=柳宗理
東京国立近代美術館

休館日:
3月4日(月)
4月1日(月)

2013年2月9日(土)~4月14日(日)

いまや生活に不可欠の家具となった「イス」について、見たり体験したりしながら楽しく考える展覧会。日本のデザイン史に残る名品椅子の展示のほか、神奈川県・湘南地域で活躍する現代の家具作家のイスに、実際に座ってみる体験コーナーを設けます。

観覧料●一般:800(640)円 ●高大生、65歳以上:600(480)円